



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社サイトリ細胞研究所
コード番号 3750 URL <https://www.cytori.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 聡寧

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 関本 秀貴

TEL 03-5501-4100

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	543	17.9	162		186		287	
2022年3月期第1四半期	461	216.7	119		104		93	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 287百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 93百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	32.21	
2022年3月期第1四半期	10.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	14,510	3,428	22.1	359.93
2022年3月期	16,006	3,716	21.9	392.12

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,213百万円 2022年3月期 3,501百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の配当予想につきましては未定としております。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,260	144.1	320		140		20		2.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
除外2社(社名) 都立大学1匿名組合、都立大学2匿名組合
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	8,929,419 株	2022年3月期	8,929,419 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	871 株	2022年3月期	700 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	8,928,578 株	2022年3月期1Q	8,743,919 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年6月30日)におけるわが国経済は、行動制限の緩和により経済活動が正常化に向かう中、資源価格の高騰や急激な円安の進行などの影響により、依然として先行きは不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、事業基盤の整備・拡充、ならびに事業領域における競争力強化、収益性向上に鋭意取り組んでまいりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における連結売上高は543百万円(前年同四半期比17.9%増)、営業損失は162百万円(前年同四半期 営業損失119百万円)を計上いたしました。金融機関からの借入金の借換費用25百万円を営業外費用に計上し、経常損失は186百万円(前年同四半期 経常損失104百万円)、関係会社出資金売却損107百万円を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は287百万円(前年同四半期 親会社株主に帰属する四半期純損失93百万円)となりました。

なお、連結子会社のデューイ㈱が都立大学Ⅰ匿名組合及び都立大学Ⅱ匿名組合に出資しておりましたが、当社グループの経営戦略にしたがい匿名組合出資持分を全て譲渡し、両匿名組合を連結の範囲から除外しております。また、合同会社バロンは、連結財務諸表に与える影響が乏しくなったため、同社を連結の範囲から除外しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[メディカル事業]

当第1四半期連結累計期間におけるメディカル事業は、医療機器として認可を受けたセルーション遠心分離器と高度管理医療機器クラスⅢとして認可を受けたセルセラピーキットを国内の医療機関や大学病院他へ積極的に販売してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のメディカル事業の売上高は36百万円(前年同四半期58百万円)となり、営業損益は、営業損失46百万円(前年同四半期 営業損失49百万円)となりました。

[リアルアセット事業]

当第1四半期連結累計期間におけるリアルアセット事業は、匿名組合出資金持分の売却が売上に貢献しました。また、当社グループ保有のホテルにおいては、修学旅行での宴会・宿泊売上が大幅に回復いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のリアルアセット事業の売上高は506百万円(前年同四半期比25.9%増)となりました。営業損益につきましては、運営するホテルの雇用の維持を図りつつ経費圧縮に努めてまいりましたが、人件費及び不動産の減価償却費負担により、営業損失78百万円(前年同四半期 営業損失30百万円)を計上することとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,555百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,473百万円減少いたしました。これは主に都立大学Ⅰ匿名組合及び都立大学Ⅱ匿名組合の連結除外による販売用不動産の減少によるものであります。固定資産は12,955百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円減少いたしました。

この結果、総資産は14,510百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,496百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は539百万円となり、前連結会計年度末に比べ455百万円減少いたしました。これは主に都立大学Ⅰ匿名組合及び都立大学Ⅱ匿名組合の連結除外による短期借入金の減少、及び長期借入金の約定弁済による1年内返済予定の長期借入金の減少によるものであります。固定負債は10,542百万円となり、前連結会計年度末に比べ752百万円減少いたしました。これは主に都立大学Ⅰ匿名組合及び都立大学Ⅱ匿名組合の連結除外による長期借入金の減少によるものであります。

この結果、負債合計は11,081百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,208百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,428百万円となり、前連結会計年度末に比べ287百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は22.1%(前連結会計年度末は21.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	851,558	867,026
商品	161,522	180,729
その他	2,016,082	507,471
流動資産合計	3,029,163	1,555,227
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,412,442	4,372,780
土地	7,426,129	7,426,129
その他(純額)	202,482	226,687
有形固定資産合計	12,041,055	12,025,597
無形固定資産		
のれん	693,077	681,594
その他	49,424	46,059
無形固定資産合計	742,502	727,654
投資その他の資産	194,045	201,988
固定資産合計	12,977,602	12,955,240
資産合計	16,006,766	14,510,467
負債の部		
流動負債		
短期借入金	164,275	-
1年内返済予定の長期借入金	553,392	356,075
その他	277,822	183,435
流動負債合計	995,489	539,510
固定負債		
長期借入金	8,550,792	7,878,821
匿名組合出資預り金	1,035,234	1,056,681
繰延税金負債	1,517,164	1,460,305
その他	191,633	146,216
固定負債合計	11,294,823	10,542,024
負債合計	12,290,313	11,081,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,939,268	2,939,268
利益剰余金	462,800	175,461
自己株式	△982	△1,178
株主資本合計	3,501,085	3,213,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	77
その他の包括利益累計額合計	67	77
新株予約権	211,501	211,501
非支配株主持分	3,798	3,802
純資産合計	3,716,452	3,428,932
負債純資産合計	16,006,766	14,510,467

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	461,198	543,539
売上原価	277,686	261,363
売上総利益	183,511	282,175
販売費及び一般管理費	302,657	444,713
営業損失(△)	△119,146	△162,537
営業外収益		
投資事業組合運用益	9,742	-
助成金収入	13,601	22,499
その他	12,894	5,573
営業外収益合計	36,238	28,073
営業外費用		
支払利息	20,511	26,694
アレンジメントフィー	-	25,000
その他	848	6
営業外費用合計	21,359	51,701
経常損失(△)	△104,267	△186,165
特別損失		
関係会社出資金売却損	-	107,628
減損損失	-	5,733
その他	-	619
特別損失合計	-	113,981
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失(△)	△104,267	△300,146
匿名組合損益分配額	△4,183	△6,460
税金等調整前四半期純損失(△)	△100,084	△293,685
法人税、住民税及び事業税	468	468
法人税等調整額	△7,194	△6,599
法人税等合計	△6,726	△6,130
四半期純損失(△)	△93,358	△287,554
非支配株主に帰属する四半期純利益	145	4
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△93,503	△287,559

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△93,358	△287,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	9
その他の包括利益合計	18	9
四半期包括利益	△93,339	△287,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△93,485	△287,549
非支配株主に係る四半期包括利益	145	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるデューイ(株)は、都立大学Ⅰ匿名組合及び都立大学Ⅱ匿名組合の出資持分を全て譲渡したため、両匿名組合を連結の範囲から除外しております。

また、合同会社パロンは、連結財務諸表に与える影響が乏しくなったため、同社を連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による影響

当第1四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方、収束時期やその影響の程度の見積り及び判断の基となった仮定について、前連結会計年度から重要な変更を行っておりません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディカル事 業	リアルアセッ ト事業	計		
売上高					
メディカル	58,881	—	58,881	—	58,881
ホテル業	—	83,596	83,596	—	83,596
不動産業	—	249,275	249,275	—	249,275
顧客との契約から生じる収益	58,881	332,872	391,753	—	391,753
その他の収益	—	69,444	69,444	—	69,444
外部顧客への売上高	58,881	402,316	461,198	—	461,198
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—
計	58,881	402,316	461,198	—	461,198
セグメント損失(△)	△49,686	△30,287	△79,973	△39,172	△119,146

(注) 1 セグメント損失の調整額△39,172千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディカル事 業	リアルアセッ ト事業	計		
売上高					
メディカル	36,830	—	36,830	—	36,830
ホテル業	—	212,909	212,909	—	212,909
不動産業	—	270,576	270,576	—	270,576
顧客との契約から生じる収益	36,830	483,486	520,316	—	520,316
その他の収益	—	23,222	23,222	—	23,222
外部顧客への売上高	36,830	506,708	543,539	—	543,539
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—
計	36,830	506,708	543,539	—	543,539
セグメント損失(△)	△46,547	△78,002	△124,549	△37,987	△162,537

(注) 1 セグメント損失の調整額△37,987千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。